

2016/11/13 ツール・ド・おきなわ 参戦記

～諦めないでよかった～

宿院 雅広

今回初めてツール・ド・おきなわに参戦してきました。数年前からずっと行きたいと思っていたのですが、どうしてもその時期に仕事が休めずに涙を飲んでいました。

ところが今回、偶然にも休みが取れたので、思い切ってエントリー。でも根性がないので一番短い50km50歳以上の部で様子見ってことで(^_^);

では参戦記です。

レースは20km過ぎまでおよそ150人の大集団で展開。ちゅうみ水族館手前の坂で少しばらけてから30km過ぎまではおよそ100人。そして35km手前の10%の上りでふるい落とされおよそ50人の集団に。悲しいかな私はここで脱落してしまいました。

坂を上り切ったところでその集団は30m先に。下りを利用して思いっきり飛ばしていきます。

負けずとおりゃー！とありったけの力で必死に追いかけるも単独走では追いつくはずもなく、どんどん離れていくばかり。やがて視界から完全に消えてしまいました。

「第1集団に残ることはやっぱり甘くはなかった。」

と、思いながらただ漫然とペダルを回すだけになっていた時、後ろからものすごいスピードで抜いていこうとするグループが。

「うわー、早いなあ」

とびっくりしたと同時に、

「どうぞどうぞ抜いてください。」

という疲れた自分がそこにいました。

ここまで来れたんだから、次の第2集団でもう十分だと半ば諦めの気持ちになっていたからです。

1人、2人、3人と抜かされ、4人目の選手が横に来たとき、突然

「一緒に前を追いかけて合流しましょう！」

の声に

「えっ!？」



とびっくりしましたが、ハッと目が覚め

「あっ、はい！」

と即答。このあたり、めっちゃ単純です(^_^;

急に息を吹き返したかのようにペダルをこぐ足に力が入ります。

「よし、行けるところまで行ったれー！」

その人の後ろについてぐんぐんスピードアップ。きつけど必死についていきます。このままのスピードなら絶対追い付けるはずと自分に言い聞かせて死に物狂いでペダルを回します。

そして、40km手前で第1集団に合流。

うわー、マジで追い付いた！

諦めないでよかった。

本当によかった。

「ありがとうございました。あなたのおかげです。」

のお礼に対する返しはアイコンタクトと指のサイン。

ともに50を過ぎたオヤジの仕草でしたが、語らずとも分かり合えた胸が熱くなる瞬間でした。



自転車レースでは、空気抵抗を減らすために集団で走ります。オヤジの部でも平地の巡航速度は50km/h近くになり、それを超えることもありますので、一人でも乱れた行動をする選手がいると、大規模な落車が発生します。お互い競争相手ですが、その競争を成立させるためには全員が協力して、集団の秩序を保つ努力をしなければなりません。

自分の行動を律しながら、他人の行動にも目配せをし、全員で声を掛け合い、助け合いながらレースを展開します。その緊張感の中で自分もまたレースを作っている事実に喜びを感じ、集団での一体感に幸せを感じます。そして、集団から脱落してもそのスピリッツがあるからこそ、前述の心を揺さぶる声かけが生まれるのでしょう。

レースは結局ラスト500mのスプリント勝負の直前で落車に巻き込まれそうになり、集団の後方に追いやられてのフィニッシュとなりましたが、運よく50位以内に入り来年のシード権(前に並ぶ権利)をゲット。今度は、お前が声をかけ、誰かを助ける番だと神様が参加を後押ししてくれているのだと思っています。

ホント諦めないでよかった。

またひとつスポーツのもつ魅力に触れることができたレースでした。